社会福业施设等施设整備费果费和协会交付要綱一部改正 新田女照表

改正後	現金人的安徽一部成正 新成別總裁 現 行				
社会福山施设等施设整備費県費補助金交付要綱	社会福止施设等施设整備費県費納助金交付要綱				
第1条 (略)	第1条 略				
第2条 (略)	第2条				
(用語の定義)	(用語の定義)				
第3条 この要綱こおいて「社会福止施設等」とは、次の表の区分ごとに掲げる大分類、中分					
び小分類の施設をいう。	びり分類の施設をいう。				
区分大分類中分類小分類	区分大分類中分類小分類				
(1)~ (2) (略) (略) (略)	(1)~ (2) (理备) (理备) (理备) (理备)				
③)障害者総合支援法第 障害福止サービス事業所	③ 障害者総合支援法第 障害・耐止サービス事業所				
5条第1項に基づく障害	5条第1項に基づく障害				
福止サービス事業 同条 障害者支援を設	福止サービス事業(同条) 障害者支援施設				
第6項に規定する療養介	第6項は規定する療養介				
護、同条第7項は規定す	護、同条第7項に規定す				
る生活/護 同条第12	る生活(護 同条第12				
項は規定する自立訓練、	項は規定する自立訓練				
同条第14項に規定する	同条第13項は規定する				
就労務庁支援若しくは同	就労務庁対策在しくは同				
条第 <u>15</u> 項 は現定する就	条第 <u>14</u> 項 現定する就				
労継続支援に限る。)を	労継続支援に関する。)を				
行う施設(以下「障害福」	行う施設以下障害福				
社サービス事業所」とい	社サービス事業所」とい				
う。)並のに存集11	う。)並びに再条第11				
項に規定する障害者支援	項、規定する障害者支援				
施設	施設 Experience Additional Management (Management Additional Management Additional Manage				
(4) 障害者総合支援法第 居宅介護事業所	(4) 障害者総合支援法第 居宅介護事業所				
5条第2項は規定する居 重度が消費事業所	5条第2項は規定する居 重覧/問介護事業所				
全介護 同条第3項二規 同行援護事業所	宅介護 同条第3項 規 同行援事業所				
定する重選用が護 同 行動援襲業所	定する重度が問う護、同 行動震動業所				

ſ		改	正後				Ŧ
	条第4項 規定する同行	以下居宅介護事業所				条第4項 規定する同行	以下居宅介護事業
	援護 同条第5項 規定	という。)				援護 同条第5項 規定	という。)
	する行動機の以下「居					する「動機」(以下「居	
	宅介護」という。)、同条	短期入所事業所				宅介護」という。)、同条	短期入所事業所
	第8項:規定する短期入	就強烈				第8項二規定する短期入	就労定着支援事業所
	所、原第13項式定	就労定着支援事業所				所、同条第 <u>15</u> 項:規	自立生活選別事業所
	する就労選択支援。同条	自立生活親加事業所				定する就労定着支援、同	共同生活親事業所
	第 <u>1 6</u> 項 規定する就	共同生活親事業所				条第 <u>1 6</u> 項 ま規定する	相炎技事業所
	労定着支援、同条第1	相談支援事業所				自立生活爱小 同条第1	
	7項 規定する自立生活					7項:規定する共同生活	
	援助。原第18項規					援助及び同条第18項こ	
	定する共同生活選択び					規定する相談支援を行う	
	同条第19項:規定する					事業所	
	相談支援を行う事業所						
	(5) (略)	(略)	(略)	(略)		(5) (略)	(略)
	(6) 障害者総合支援法第	福北十二人			_	(6) 障害者総合支援法第	福北十二人
	5条第29項に基づく福					5条第28項に基づく福	
	<u> </u>					<u> </u>	
	(7) ~ (10) (略)	(略)	(略)	(略)		(7) ~ (10) (略)	(略)

2 (略)

(交付の対象)

第4条 この補助金は、次の表の第①欄 こ定める施設の種類ごとに、第②欄 こ定める設置根拠等により第3欄 こ定める設置者が設置する施設 こ係る施設整備事業を補助の対象とする。 ただし、以下の各号に該当する場合は補助の対象としない。

(1)~(9) 略

①施設の種類	②設置根拠等	③設置者	④補助機順等	⑤県補助率
(1)~ (3) (略)	略	略	(略)	略
⑷居宅介護事業所、	障害者総合支援3第7	社会福祉法人等	滑牆	3/4
短期入所事業所、就	9条第2項			

2 (略)

(交付の対象)

第4条 この補助金は、次の表の第①欄 こ定める施設の種類ごとに、第2欄 こ定める設置根拠等 こより第3欄 こ定める設置者が設置する施設 こ係る施設整備事業を補助の対象とする。 ただし、以下の各号に該当する場合は補助の対象としない。

行

(略)

(略)

(略)

(略)

(1)~(9) 略)

①施設の種類	②設置根拠等	③設置者	4潮圳根拠等	⑤県補助率	
(1)~ (3) (略)	(略)	略)	(略)	(略)	
(4)居宅介護事業所、	障害者総合支援3第7	社会福祉法人等	予算置	3/4	
短期入所事業所、就	9条第2項				

	라	立正後		
労選尺支援業所、				
就洗完着支援事業				
所、自立生活親康				
新、共配活動				
事業所及び相談支援				
事業所				
(5) ~(10) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(交付額の算定方法及び国の財政上の特別措置)

第5条 整備費補助金の交付額よ、次により算出するものとする。

なお、事業ごとに算出された交付額こ1,000 円未満の消費が生じた場合には、これを切り捨て るものとする。

- 2 創設、増築、増改築、改築、拡張、老朽民間社会部は施設整備及び避難スペース整備こついては、次により算出された額を交付額とする。
 - (1)~(3) (略
 - (4) ただし、保勤値段等に地域交流スペースの整備を行うときは、地域交流スペースに係る額を除いて(1)から(3)により算定した交付額に、次の(ア)から(エ)のうちいずれか少ない額を加えたものを交付額とする。

(ア)~(イ) (略)

- (ウ) 地域交流スペースに係る基準額
 - a 防災拠点型以外の地域交流スペースの場合(bの場合を除く。) 31,900千円(初度設備相当を併せて整備する場合は33,600千円)
 - b 防災拠点型以外の地域交流スペースの場合で、かつ、耐震化等整備を行う場合、4 4、580千円(初度設備相当を併せて整備する場合は46、280千円)
 - c 防災拠点型地域交流スペースの場合(dの場合を除く。) 43,300千円(初度設備相当を併せて整備する場合は47,930千円)
 - d 防災拠点型地域交流スペースの場合で、かつ、耐震化等整備を行う場合、<u>61,5</u> 20千円(初度設備相当を併せて整備する場合は<u>66,150</u>千円)

(工) (略)

3~4 (略)

第6条~第20条 略

(交付額の算定方法及び国の財政上の特別措置)

第5条 整備費補助金の交付額よ、次により算出するものとする。

なお、事業ごとに算出された交付額 こ1,000 円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。

- 2 創設、増築、増攻築、改築、拡張、老朽民間社会福止施設整備及び避難スペース整備こついては、次により算出された額を交付額とする。
 - (1)~(3) (略
 - (4) ただし、保鬱福設等に地域交流スペースの整備を行うときは、地域交流スペースに係る額を除いて(1)から(3)により算定した交付額に、次の(ア)から(エ)のうちいずれか少ない額を加えたものを交付額とする。

(ア)~(イ) 略)

- (ウ) 地域交流スペースに係る基準額
 - a 防災拠点型以外の地域交流スペースの場合(bの場合を除く。) 30,500千円(初度設備相当を併せて整備する場合は32,130千円)
 - b 防災拠点型以外の地域交流スペースの場合で、かつ、耐震化等整備を行う場合、4 2,580千円(初度設備相当を併せて整備する場合は44,210千円)
 - c 防災拠点型地域交流スペースの場合(dの場合を除く。) 41,400千円(初度設備相当を併せて整備する場合は45,830千円)
 - d 防災拠点型地域交流スペースの場合で、かつ、耐震化等整備を行う場合、<u>58,7</u> 60千円(初度設備相当を併せて整備する場合は<u>63,190</u>千円)

(工) (略)

3~4 略

第6条~第20条 (略)

改 正 後	現 行
附則	附則
この要綱よ、平成18年3月1日から施行し、平成17年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成18年3月1日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成19年3月9日から施行し、平成18年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成19年3月9日から施行し、平成18年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成20年1月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成20年1月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成21年3月2日から施行し、平成20年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成21年3月2日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成22年3月12日から施行し、平成21年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成22年3月12日から施行し、平成21年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成22年11月30日から施行し、平成22年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成22年11月30日から施行し、平成22年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成24年2月21日から施行し、平成24年2月21日から適用する。	この要綱よ、平成24年2月21日から施行し、平成24年2月21日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成26年3月27日から施行し、平成25年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成26年3月27日から施行し、平成25年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成26年6月13日から施行し、平成26年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成26年6月13日から施行し、平成26年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成26年12月9日から施行し、平成26年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成26年12月9日から施行し、平成26年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱は、平成27年12月28日から施行し、平成27年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成27年12月28日から施行し、平成27年4月1日から適用する。
附 掛	

改 正 後	現 行
この要綱よ、平成28年8月5日から施行し、平成28年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成28年8月5日から施行し、平成28年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成29年2月20日から施行し、平成28年10月11日から適用する。	この要綱よ、平成29年2月20日から施行し、平成28年10月11日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成29年6月23日から施行し、平成29年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成29年6月23日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成30年6月11日から施行し、平成30年4月1日から適用する。	この要綱よ、平成30年6月11日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、平成31年2月12日から施行し、平成31年2月7日から適用する。	この要綱よ、平成31年2月12日から施行し、平成31年2月7日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、令和元年7月18日から施行し、平成31年4月1日から適用する。	この要綱よ、令和元年7月18日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、令和2年7月2日から施行し、令和2年4月1日から適用する。	この要綱よ、令和2年7月2日から施行し、令和2年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、令和3年3月18日から施行し、令和3年3月18日から適用する。	この要綱よ、令和3年3月18日から施行し、令和3年3月18日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、令和3年8月6日から施行し、令和3年4月1日から適用する。	この要綱よ、令和3年8月6日から施行し、令和3年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、令和4年7月29日から施行し、令和4年4月1日から適用する。	この要綱よ、令和4年7月29日から施行し、令和4年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、令和5年8月9日から施行し、令和5年4月1日から適用する。	この要綱よ、令和5年8月9日から施行し、令和5年4月1日から適用する。
附則	附則
この要綱よ、令和6年9月25日から施行し、令和6年4月1日から適用する。	この要綱よ、令和6年9月25日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

		改正後						現	行		
	令和7年10月3日から 選択支援に係る改正にで (略)				別表	1-1~1-6	略				
2-1					別表	2-1					
定員1人当たり	の補助基準単価			(単位 : 円)		定員1人当たりの	補助基準単価				(単位 : F
	施 設 の	種 類		補助基準額			施 設	の	種類		補助基準
	_ _			単位:(円)							単位 : (F
救護艇	本体		都市部	<u>7,350,000</u>		救護施設	本体			都市部	<u>7,020</u>
		F	標準	<u>7,000,000</u>						標準	<u>6,690,</u>
		初度整備加算		<u>107,000</u>					初度整備順	1	<u>102,</u>
	個室設備加算		都市部	<u>513,000</u>			個室設備順			都市部	<u>491,</u>
			標準	<u>489,000</u>	-					標準	<u>468,</u>
更生施設	本体		都市部	<u>7,350,000</u>		更生施設	本体			都市部	<u>7,020,</u>
			標準	7,000,000						標準	<u>6,690.</u>
		初度整備心算		<u>107,000</u>					初度整備加算	1-1-1-	<u>102,</u>
	個室整備加算		都市部	<u>513,000</u>			個室整備加算			都市部	<u>491,</u>
155+54+50.			標準	489,000	-	1-15- 1-1-1-				標準	<u>468,</u>
授金施設			都市部	<u>3,170,000</u>		授金施設				都市部	<u>3,030,</u>
		±	標準	3,020,000					±	標準	<u>2,880,</u>
<u>√=</u> ⊆r+8/#+ /,= π		初度設備順	±/n 1 ↔ n	<u>107,000</u>	-	<u>,</u>			初度設備的項	±/n 1 ↔ n	<u>102,</u>
宿服機機			都市部	<u>2,520,000</u>		宿所提供 檢設				都市部	<u>2,410,</u>
		初度整備加算	標準	<u>2,400,000</u>					初度整備加算	標準	2,300,
社会事業授産	<u> </u>	例及登闸川昇	±n . 1. ∴ n	<u>107,000</u>	-	社会事業授産			が皮金属川昇	±n <u>++</u> n	102,
	Ē		標準	<u>3,170,000</u> 3,020,000		在安争来按座 施設				標準	3,030, 2,880,
施設											

(注) 1 上段書きは、「社会部は施設等施設整備費における都市部特別島増単価の取扱いてついて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別島増削の運行であ (注) 1 上段書きは、「社会福止施設等施設整備費における都市部特別店増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別店増加算後の単価であ

ること。

- 2 改築整備に係る初度設備目当加算は、基準単価の2分の1以内で知事が必要と認めた額であること。
- 3 救護施設にサテライト型救護施設を設置する場合には、救護施設の基準を適用する。
- 4 個室整備加算は、定員の3割以内を限度とする。

別表2-2

(耐震化等整備) を行う場合

定員1人当たりの補助基準単価

(単位:円)

	施	設	の	種	類		補助基準額
							単位:(円)
救護施設						都市部	<u>10,060,000</u>
						標準	<u>9,590,000</u>
更生施設						都市部	<u>10,060,000</u>
						標準	<u>9,590,000</u>

- (注) 1 上段書きは、「社会福祉施設等施設整備費における都市部特別割増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別割増削の単価である こと。
 - 2 救護施設にサテライト型救護施設を設置する場合には、救護施設の基準を適用する。

別表2-3

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別表第1に掲げる社会部が設定の改築として行う場合)として行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別表第1に掲げる社会部が設定(木造施設の改築として行う場合)として行う場合)

定員1人当たりの補助基準単価

(単位:円)

- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	71 1 1					
	施 設	の	種	類		補助基準額
						単位:(円)
救護艦	本体				都市部	<u>8,1600,000</u>
					標準	<u>7,780,000</u>
		初	度整備	順		<u>119,000</u>
	個室整備加算	Ī			都市部	<u>570,000</u>

見 行

ること。

- 2 改築整備に係る初度設備相当加算は、基準単価の2分の1以内で知事が必要と認めた額であること。
- 3 救護施設にサテライト型救護施設を設置する場合には、救護施設の基準を適用する。
- 4 個室整備加算は、定員の3割以内を限度とする。

別表2-2

(耐震化等整備) を行う場合

定員1人当たりの補助基準単価

(単位:円)

	施	設	の	種	類		補助基準額
							単位:(円)
救護施設						都市部	<u>9,620,000</u>
						標準	<u>9,160,000</u>
更生施設						都市部	<u>9,620,000</u>
						標準	<u>9,160,000</u>

- (注) 1 上段書きは、「社会福止施設等施設整備費における都市部特別島増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別島地面である こと。
 - 2 救護施設にサテライト型救護施設を設置する場合には、救護施設の基準を適用する。

別表2-3

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別表第1に掲げる社会福祉施設(木造施設の改築として行う場合)として行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別表第1に掲げる社会福祉施設(木造施設の改築として行う場合)として行う場合)

定員1人当たりの補助基準単価

	施設	の	種	類		補基額
						単位 : (円)
救護施設	本体				都市部	<u>7,800,000</u>
					標準	<u>7,440,000</u>
		初	度整備	加算		<u>114,000</u>
	個室整備順				都市部	<u>545,000</u>

芝生 544.000

現 行

標準 <u>520,000</u>

- (注) 1 上段書きは、「社会福ມ施設等施設整備費における都市部特別害増単価の取扱いこついて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別害博物・算後の単価であること
 - 2 改築整備に係る初度設備目当加算は、基準単価の2分の1以内で矢事が必要と認めた額であること。
 - 3 木造施設の改築として行う場合に限る。
 - 4 個室整備が算は、定員の3割以内を限度とする。

別表2-4

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別表第11:掲げる社会福山施設(木造施設の改築として行う場合)として耐震化等整備を行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別表第11:掲げる社会福山施設(木造施設の改築として行う場合)として耐震化等整備を行う場合)

定員1人当たりの補助基準単価

(単位 : 円)

	施	設	の	種	類		補助 <u>基準額</u> 単位:(円)
救護施設						都市部	<u>11,180,000</u>
						標準	<u>10,650,000</u>

- (注) 1 上段書きは、「社会福山施設等施設整備費における都市部特別的増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別的増進の単価 であること。
 - 2 木造施設の改築として行う場合に限る。

別表3-1

1事業(1施設) 当たりの補助基準単価

(単位 : 円)

事業 (施設)	補助基準額					
生活介護	本体	利用定員	20人	以下	都市部	<u>67,800,000</u>
自立訓練	(日中活動部				標準	64,500,000
就労移行支	分		21人	~40人	都市部	136,600,000
援					標準	130,200,000
就労継続支			41人	~60人	都市部	228,400,000

- (注) 1 上段書きは、「社会福止施設等施設整備費における都市部特別割増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別割増り賃後の単価であること
 - 2 改築整備に係る初度設備目当加算は、基準単価の2分の1以内で知事が必要と認めた額であること。
 - 3 木造施設の改築として行う場合に限る。
 - 4 個室整備が算は、定員の3割以内を限度とする。

別表2-4

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別表第11:掲げる社会福山施設(木造施設の改築として行う場合)として耐震化等整備を行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別表第11:掲げる社会福山施設(木造施設の改築として行う場合)として耐震化等整備を行う場合)

定員1人当たりの補助基準単価

(単位:円)

	施	設	の	種	類		補助基準額 単位:(円)
救護施設						都市部	<u>10,690,000</u>
						標準	<u>10,180,000</u>

- (注) 1 上段書きは、「社会福」施設等施設整備費における都市部特別的増単価の取扱いこついて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別的増進の単価であること。
 - 2 木造施設の改築として行う場合に限る。

別表3-1

1事業 (1施設) 当たりの補助基準単価

事業 (施設)	補助基準額					
生活介護	本体	利用定員	20人	以下	都市部	64,800,000
自立訓練	(日中活動部				標準	61,700,000
就労移行支	分		21人	~40人	都市部	130,500,000
援					標準	124,400,000
就労継続支			41人	~60人	都市部	218,100,000

		改正後					現 行		
援			標準	<u>217,500,000</u>	援			標準	207,800,000
		61人 ~80人	都市部	320,700,000			61人 ~80人	都市部	306,400,000
			標準	<u>305,500,000</u>				標準	<u>291,900,000</u>
		81人 ~100人	都市部	<u>413,400,000</u>			81人 ~100人	都市部	<u>394,800,000</u>
			標準	<u>393,700,000</u>				標準	<u>376,100,000</u>
		101人 ~120人	都市部	<u>504,800,000</u>			101人 ~120人	都市部	<u>482,200,000</u>
			標準	<u>480,800,000</u>				標準	<u>459,300,000</u>
		121人以上	都市部	<u>597,600,000</u>			121人以上	都市部	<u>570,800,000</u>
			標準	<u>569,100,000</u>				標準	<u>543,600,000</u>
	施設入所支援	利用定員 20人 以下	都市部	<u>54,600,000</u>		施設入所支援	利用定員 20人 以下	都市部	<u>52,200,000</u>
	整備加算及び		標準	<u>52,000,000</u>		整備加算及び		標準	<u>49,700,000</u>
	本体(宿泊型	21人 ~40人	都市部	<u>110,300,000</u>		本体(宿泊型	21人 ~40人	都市部	<u>105,300,000</u>
	自立訓練		標準	<u>105,000,000</u>		自立訓練		標準	100,400,000
		41人 ~60人	都市部	<u>184,500,000</u>			41人 ~60人	都市部	<u>176,200,000</u>
			標準	<u>175,800,000</u>				標準	<u>167,900,000</u>
		61人 ~80人	都市部	<u>260,100,000</u>			61人 ~80人	都市部	<u>248,400,000</u>
			標準	<u>247,700,000</u>				標準	<u>236,600,000</u>
		81人 ~100人	都市部	<u>334,100,000</u>			81人 ~100人	都市部	<u>319,100,000</u>
			標準	<u>318,200,000</u>				標準	<u>303,900,000</u>
		101人 ~120人	都市部	<u>409,500,000</u>			101人 ~120人	都市部	<u>391,200,000</u>
			標準	<u>390,000,000</u>				標準	<u>372,600,000</u>
		121人以上	都市部	<u>483,800,000</u>			121人以上	都市部	<u>462,100,000</u>
			標準	460,800,000				標準	440,100,000
	就労・訓練事業	等整備。噴	都市部	<u>52,200,000</u>		就労・訓練事業	等整備順	都市部	<u>49,900,000</u>
			標準	<u>49,800,000</u>				標準	<u>47,600,000</u>
	大規模生産設備	等整 備。	都市部	<u>172,300,000</u>		大規模生産設備	に に に に に に に に に に に に に に に に に に に 	都市部	<u>164,600,000</u>
			標準	<u>164,100,000</u>				標準	<u>156,800,000</u>
	短期入所整備	僔	都市部	<u>14,100,000</u>		短期入所整備加	算	都市部	<u>13,500,000</u>
			標準	<u>13,500,000</u>				標準	<u>12,900,000</u>
	発達管書者支援	爱センタ <u>一整</u> 備加算	都市部	<u>16,500,000</u>		発達管者支援	ピュンター整備II算	都市部	<u>15,800,000</u>
			標準	<u>15,700,000</u>				標準	<u>15,000,000</u>
	就労定着支援、	自立生活轰炸、相談支援整備的算	都市部	<u>11,600,000</u>		就労定着支援、	自立生活轰炸、相談支援整備的算	都市部	<u>11,100,000</u>
			標準	<u>11,100,000</u>				標準	<u>10,600,000</u>

	改 正 後					現 行				
	居宅介護整備加		都市部	<u>7,800,000</u>			居宅介護整備加	算	都市部	<u>7,500,000</u>
			標準	<u>7,470,000</u>					標準	<u>7,140,000</u>
	避難スペース整備		都市部	<u>45,300,000</u>			避難スペース整		都市部	<u>43,400,000</u>
			標準	<u>43,200,000</u>					標準	<u>41,400,000</u>
療養介護	本体	利用定員 20人	都市部	<u>123,400,000</u>		療養介護	本体	利用定員 20人	都市部	<u>117,900,000</u>
			標準	<u>117,600,000</u>					標準	<u>112,300,000</u>
		21人 ~40人	都市部	248,000,000				21人 ~40人	都市部	<u>236,900,000</u>
			標準	<u>236,200,000</u>					標準	225,600,000
		41人 ~60人	都市部	<u>413,300,000</u>				41人 ~60人	都市部	<u>394,800,000</u>
			標準	393,600,000					標準	<u>376,000,000</u>
		61人 ~80人	都市部	<u>581,700,000</u>				61人 ~80人	都市部	<u>555,600,000</u>
			標準	<u>554,100,000</u>					標準	<u>529,200,000</u>
		81人 ~100人	都市部	<u>748,600,000</u>				81人 ~100人	都市部	<u>715,100,000</u>
			標準	<u>713,000,000</u>					標準	<u>681,000,000</u>
		101人 ~120人	都市部	915,300,000				101人 ~120人	都市部	874,200,000
			標準	871,700,000					標準	832,600,000
		121人 以上	都市部	<u>1,082,100,000</u>				121人 以上	都市部	<u>1,033,600,000</u>
			標準	<u>1,030,600,000</u>					標準	984,400,000
	就労・訓練事業等	整備噴	都市部	<u>52,200,000</u>			就労·訓練事業等整備加算 大規模生産設備等整備加算		都市部	<u>49,900,000</u>
			標準	<u>49,800,000</u>					標準	47,600,000
	大規模生産設備	整備項	都市部	<u>172,300,000</u>					都市部	164,600,000
			標準	<u>164,100,000</u>					標準	156,800,000
	短期入所整備加		都市部	<u>14,100,000</u>			短期入所整備加	算	都市部	<u>13,500,000</u>
			標準	13,500,000					標準	12,900,000
	発達管者支援	センター整備心算	都市部	<u>16,500,000</u>			発達管者支援	センター整備心算	都市部	<u>15,800,000</u>
			標準	<u>15,700,000</u>					標準	<u>15,000,000</u>
	就労定着支援、国	自立生活援助、相談支援整備加算	都市部	<u>11,600,000</u>			就労定着支援、	自立生活援助、相談支援整備加算	都市部	<u>11,100,000</u>
			標準	11,100,000				ede:	標準	<u>10,600,000</u>
	居宅介護整備加		都市部	7,800,000			居宅介護整備加	算	都市部	<u>7,500,000</u>
	>n+## ○		標準	7,470,000			選挙はスペース整備加算		標準	<u>7,140,000</u>
	避性スペース整	削 焊	都市部	45,300,000					都市部	43,400,000
	A.E.	T 	標準	43,200,000		11-11-1-	A.E.		標準	41,400,000
共同生活援	創設	定員4人 ~ 10人	都市部	<u>32,100,000</u>		共同生活援	創設	定員4人 ~ 10人	都市部	<u>30,700,000</u>

		改正後		
助			標準	<u>30,600,</u>
		短期入所整備加算	都市部	<u>14,100,</u>
			標準	<u>13,500,</u>
		エレベーター等設置整備が算	都市部	<u>2,550,</u>
			標準	<u>2,430,</u>
	就労定着支援、自	立生活援助、相談支援整備1項	都市部	<u>11,600,</u>
			標準	<u>11,100,</u>
	居宅介護整備加噴	1	都市部	<u>7,800.</u>
			標準	<u>7,470,</u>
	避難スペース整備	制項	都市部	<u>45,300,</u>
			標準	<u>43,200,</u>
増築整備(月	既存施設の現在定員	の増員)	都市部	<u>33,900.</u>
			標準	<u>32,300.</u>
短期入所(頭入所のみの整備	の場合)	都市部	<u>17,100.</u>
			標準	<u>16,300</u> ,
就労定着支	爰、自立生活援助、	相談支援(各事業のみの整備の場	都市部	11,600.
合)			標準	<u>11,100</u>
居宅介護(月	言宅介護のみの整備	iの場合)	都市部	<u>7,800.</u>
			標準	<u>7,470,</u>
避ばべー	ス整備(避難スペー	-スのみの整備の場合)	都市部	<u>45,300.</u>
			標準	<u>43,200</u> .
補裝具製作	 		都市部	<u>17,100</u> ,
			標準	<u>16,300.</u>
盲導犬訓練	6段		都市部	<u>213,600</u> .
			標準	203,500
点字図書館			都市部	<u>58,600,</u>
			標準	<u>55,800.</u>
聴覚障害者	静 提供施設		都市部	<u>79,200.</u>
			標準	<u>75,400</u> ,

(注) 1 上段書きは、「社会福止施設等施設整備費における都市部特別店間単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別店間か算後の単価であること。

		現 行		
助			標準	<u>29,300,000</u>
		短期入所整備」噴	都市部	<u>13,500,000</u>
			標準	<u>12,900,000</u>
		エレベーター等設置整備が算	都市部	2,430,000
			標準	<u>2,320,000</u>
	就労定着支援、自	立生活 人 植淡支援整備 噴	都市部	<u>11,100,000</u>
			標準	<u>10,600,000</u>
	居宅介護整備」噴	+444	都市部	<u>7,500,000</u>
			標準	<u>7,140,000</u>
	選ばスペース整備	動噂	都市部	<u>43,400,000</u>
			標準	<u>41,400,000</u>
增熱	備(既存施設の現在定員	の増員)	都市部	<u>32,400,000</u>
			標準	<u>30,900,000</u>
短期入	所(短期入所のみの整備	の場合)	都市部	<u>16,400,000</u>
			標準	<u>15,600,000</u>
就光定	清支援、自立生活援助、	相談支援(各事業のみの整備の場	都市部	<u>11,100,000</u>
合)			標準	<u>10,600,000</u>
居宅介	護(居宅介護のみの整備	の場合)	都市部	<u>7,500,000</u>
			標準	<u>7,140,000</u>
避ばる	ペース整備(避難スペー	スのみの整備の場合)	都市部	<u>43,400,000</u>
			標準	<u>41,400,000</u>
補裝	製作館		都市部	<u>16,400,000</u>
			標準	<u>15,600,000</u>
盲導大	訓練施設		都市部	<u>204,100,000</u>
			標準	<u>194,400,000</u>
点字図	書館		都市部	<u>56,000,000</u>
			標準	<u>53,400,000</u>
聴覚障	害者情觀供施設		都市部	<u>75,600,000</u>
			標準	<u>72,000,000</u>

(注) 1 上段書きは、「社会福山施設等施設整備費における都市部特別割増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社経第2234号)」により、都市部特別割増加算後の単価であること。

- 2 本体単価と各種加算の合計額を基準額とする。(本体単価こついて、宿泊型自立訓練のみを行う事業所は「本体(宿泊型自立訓練)」、宿泊型自立訓練と併せて自立訓練等の日中活動を行う事業所は「本体(日中活動部分) +本体(宿泊型自立訓練)」の単価とする。)
- 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」または「短期入所(短期入所のみの整備の場合)」に2分の1を乗じた額を基準額とする。

利用定員 40人 以下

別表3-2

「耐震化等整備を行う場合)

生活介護

事業(施設)の種類

1事業 (1施設) 当たりの補助基準単価

本体

(単位:円)

181.700.000

443,100,000

422,100,000

543,500,000

517.600.000

641.600.000

補助基準額

都市部

都市部

都市部

標準

都市部

標準

自立訓練	(日中活動部			標準	<u>173,100,000</u>
就労移行	分)		41人 ~60人	都市部	303,000,000
支援				標準	288,600,000
就労継続			61人 ~80人	都市部	425,700,000
支援				標準	405,500,000
			81人 ~100人	都市部	548,600,000
				標準	<u>522,500,000</u>
			101人 ~120	都市部	670,200,000
		人		標準	638,300,000
			121人以上	都市部	<u>792,700,000</u>
				標準	<u>755,000,000</u>
	施設入所支	利用定員	40人 以下	都市部	146,600,000
	接触彈			標準	<u>139,600,000</u>
			41人 ~60人	都市部	244,900,000
				標準	233,300,000
			61人 ~80人	都市部	344,700,000
				標準	328,400,000

81人 ~100人

101人 ~120人

121人以上

現 行

- 2 本体単価と各種が算の合計額を基準額とする。(本体単価こついて、宿泊型自立訓練のみを行う事業所は「本体(宿泊型自立訓練)」、宿泊型自立訓練と併せて自立訓練等の日中活動を行う事業所は「本体(日中活動部分) +本体(宿泊型自立訓練)」の単価とする。)
- 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」または「短期入所(短期入所のみの整備の場合)」に2分の1を乗じた額を基準額とする。

別表3-2

(耐震化等整備を行う場合)

1事業 (1施設) 当たりの補助基準単価

事業(施設)	の種類				補助基準額
生活介護	本体	利用定員	40人 以下	都市部	<u>173,600,000</u>
自立訓練	(日中活動部			標準	<u>165,300,000</u>
就労移行支	分)		41人 ~60人	都市部	<u>289,400,000</u>
援				標準	<u>275,700,000</u>
就労継続支			61人 ~80人	都市部	<u>406,700,000</u>
援				標準	<u>387,300,000</u>
			81人 ~100人	都市部	<u>524,000,000</u>
				標準	<u>499,100,000</u>
			101人 ~120人	都市部	<u>640,100,000</u>
				標準	609,600,000
			121人以上	都市部	<u>757,200,000</u>
				標準	<u>721,200,000</u>
	施設入所支援	利用定員	40人 以下	都市部	<u>140,000,000</u>
	整備順			標準	<u>133,400,000</u>
			41人 ~60人	都市部	<u>234,000,000</u>
				標準	<u>222,900,000</u>
			61人 ~80人	都市部	<u>329,400,000</u>
				標準	<u>313,700,000</u>
			81人 ~100人	都市部	<u>423,300,000</u>
				標準	403,200,000
			101人 ~120人	都市部	<u>519,100,000</u>
				標準	<u>494,400,000</u>
			121人以上	都市部	<u>612,900,000</u>

改 正 後								
		標準	<u>611,100,000</u>					
	就労·訓練 事業等整 備加算	都市部	<u>69,400,000</u>					
		標準	<u>66,100,000</u>					
	短期入所整備心質	都市部	<u>15,500,000</u>					
		標準	<u>14,800,000</u>					
	発達できます。発力を表現して、	都市部	<u>21,600,000</u>					
		標準	<u>20,600,000</u>					

- (注) 1 上段書きは、「社会福山福安等施設整備費における都市部特別害増単価の取扱いてついて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別害増加算後の単価であること。
 - 2 本体単価と各種が算、解体散去費用及び仮設施設整備工事費の合計額を基準額とする。
 - 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」に2分の1を乗じた額を基準額とする。
 - 4 障害者支援施設の改築として行う場合に限る。

別表3-3

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別表第1に掲げる社会部が設定の対策として行う場合)として行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別表第1に掲げる社会福祉施設(木造幅設の改築として行う場合)として行う場合)

1事業 (1施設) 当たりの補助基準単価

(単位:円)

事業(施設)	の種類				補基額
生活介護	本体	利用定員	20人以下	都市部	<u>75,300,000</u>
自立訓練	(日中活動部			標準	<u>71,700,000</u>
	分		21人 ~40人	都市部	<u>151,800,000</u>
				標準	<u>144,600,000</u>
			41人 ~60人	都市部	<u>253,800,000</u>
				標準	<u>241,700,000</u>
			61人 ~80人	都市部	<u>356,400,000</u>
				標準	<u>339,500,000</u>
			81人 ~100人	都市部	<u>459,300,000</u>
				標準	<u>437,500,000</u>
			101人~120人	都市部	<u>560,900,000</u>
				標準	<u>534,200,000</u>

		標準	<u>583,700,000</u>
就労・訓練事業	等整備順算	都市部	<u>66,300,000</u>
		標準	<u>63,200,000</u>
短期入所整備加	算	都市部	<u>14,900,000</u>
		標準	<u>14,200,000</u>

都市部

標準

- (注) 1 上段書きは、「社会福山施設等施設整備費における都市部特別期増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別割増加算後の単価であること。
 - 2 本体単価と各種加算、解体撤去費用及び仮設施設整備工事費の合計額を基準額とする。
 - 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」に2分の1を乗じた額を基準額とする。
 - 4 障害者支援施設の改築として行う場合に限る。

発達等者支援センター整備加算

別表3-3

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別表第1に掲げる社会福祉施設(木造施設の改築として行う場合)として行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別表第1に掲げる社会福祉施設(木造施設の改築として行う場合)として行う場合)

1事業 (1施設) 当たりの補助基準単価

(単位:円)

20,700,000

19,700,000

事業(施設)	補助基準額				
生活介護	本体	利用定員	20人以下	都市部	<u>72,000,000</u>
自立訓練	(日中活動部			標準	<u>68,500,000</u>
	分		21人 ~40人	都市部	<u>145,000,000</u>
				標準	<u>138,200,000</u>
			41人 ~60人	都市部	<u>242,400,000</u>
				標準	<u>230,900,000</u>
			61人 ~80人	都市部	<u>340,500,000</u>
				標準	<u>324,300,000</u>
			81人 ~100人	都市部	<u>438,700,000</u>
				標準	<u>417,900,000</u>
			101人~120人	都市部	<u>535,800,000</u>
				標準	<u>510,300,000</u>

		改正後					現 行		
		121人 以上	都市部	664,000,000			121人 以上	都市部	634,200,000
			標準	<u>632,400,000</u>				標準	604,000,000
	施設入所支援	利用定員 20人以下	都市部	60,600,000		施設入所支援	利用定員 20人以下	都市部	<u>58,000,000</u>
	整備加算及び		標準	<u>57,800,000</u>		整備加算及び		標準	<u>55,200,000</u>
	本体(宿泊型自	21人 ~40人	都市部	<u>122,500,000</u>		本体(宿台型自	21人 ~40人	都市部	<u>117,000,000</u>
	立訓練		標準	<u>116,700,000</u>		立訓練		標準	<u>111,500,000</u>
		41人 ~60人	都市部	<u>205,000,000</u>			41人 ~60人	都市部	<u>195,800,000</u>
			標準	<u>195,300,000</u>				標準	<u>186,500,000</u>
		61人 ~80人	都市部	<u>289,000,000</u>			61人 ~80人	都市部	<u>276,000,000</u>
			標準	<u>275,200,000</u>				標準	<u>262,900,000</u>
		81人 ~100人	都市部	<u>371,200,000</u>			81人 ~100人	都市部	<u>354,500,000</u>
			標準	<u>353,500,000</u>				標準	<u>337,700,000</u>
		101人~120人	都市部	<u>455,000,000</u>			101人~120人	都市部	<u>434,600,000</u>
			標準	<u>433,400,000</u>				標準	<u>414,000,000</u>
		121人 以上	都市部	<u>537,500,000</u>			121人 以上	都市部	<u>513,500,000</u>
			標準	<u>512,000,000</u>				標準	<u>489,000,000</u>
	就労・訓練事業等	整備噴	都市部	<u>58,000,000</u>		就労・訓練事業等	整備噴	都市部	<u>55,500,000</u>
			標準	<u>55,300,000</u>				標準	<u>52,900,000</u>
	大規模生産設備	整備噴	都市部	<u>191,500,000</u>		大規模生産設備等整備加算		都市部	<u>182,900,000</u>
			標準	<u>182,400,000</u>				標準	<u>174,200,000</u>
	短期入所整備加度	7	都市部	<u>15,700,000</u>		短期入所整備的	草 一	都市部	<u>15,000,000</u>
			標準	<u>15,000,000</u>				標準	<u>14,300,000</u>
	発達管書	zンター整備I項	都市部	<u>18,300,000</u>		発達書者支援	センター整備で算	都市部	<u>17,500,000</u>
			標準	<u>17,500,000</u>				標準	<u>16,700,000</u>
	就労定着支援、国	1立生活寒助、相談支援整備1項	都市部	<u>12,900,000</u>		就労定着支援、国	1立生活)、相談支援整備。原	都市部	<u>12,400,000</u>
			標準	<u>12,300,000</u>				標準	<u>11,800,000</u>
	居宅介護整備加強		都市部	<u>8,660,000</u>		居宅介護整備加強	草	都市部	<u>8,330,000</u>
			標準	<u>8,300,000</u>				標準	<u>7,940,000</u>
	避性スペース整備に算		都市部	<u>50,400,000</u>	選挙はペース整備加算		都市部	<u>48,200,000</u>	
			標準	<u>48,000,000</u>				標準	<u>46,000,000</u>
注) 1 上段	きは、「社会福城	設等施設整備費における都市部特	卵割増単価	の取扱いについて	(注) 1 上段	書きは、「社会福祉	設等施設整備費における都市部特	列割増単価の	の取扱いについて

(注) 1 上段書きは、「社会福加施設等施設整備質における都市部特別島間単血の取扱いてついて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別島間的算後の単価であること。 注) 1 上段書きは、「社会福祉施設等施設整備費における都市部特別割増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別割増加算後の単価で あること。

- 2 本体単価と各種が算の合計額を基準額とする。(本体単価こついて、宿泊型自立訓練のみを行う事業所は「本体(宿泊型自立訓練)」、宿泊型自立訓練と併せて自立訓練等の日中活動を行う事業所は「本体(日中活動部分) +本体(宿泊型自立訓練)」の単価とする。)
- 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」に2分の1を乗じた額を基準額とする。
- 4 木造施設の改築として行う場合に限る。

別表3-4

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別表第11:掲げる社会福祉施設 (木造幅設の改築として行う場合) として耐震化等整備を行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別表第11:掲げる社会福祉施設 (木造施設の改築として行う場合) として耐震化等整備を行う場合)

1事業 (1施設) 当たりの補助基準単価

(単位 : 円)

事業(施設)	の種類				補助基準額
生活介護	本体	利用定員	40人以下	都市部	<u>201,900,000</u>
自立訓練	(日中活動部			標準	<u>192,300,000</u>
	分		41人 ~60人	都市部	336,600,000
				標準	320,600,000
			61人 ~80人	都市部	<u>473,000,000</u>
				標準	<u>450,500,000</u>
			81人 ~100人	都市部	<u>609,500,000</u>
				標準	<u>580,500,000</u>
			101人~120人	都市部	<u>744,600,000</u>
				標準	<u>709,200,000</u>
			121人 以上	都市部	<u>880,800,000</u>
				標準	<u>838,900,000</u>
	施設入所支援整	利用定員	40人以下	都市部	<u>162,900,000</u>
	備噴			標準	<u>155,100,000</u>
			41人 ~60人	都市部	<u>272,100,000</u>
				標準	<u>259,200,000</u>
			61人 ~80人	都市部	<u>383,000,000</u>
				標準	<u>364,900,000</u>
			81人 ~100人	都市部	<u>492,400,000</u>

現 行

- 2 本体単価と各種が算の合計額を基準額とする。(本体単価こついて、宿泊型自立訓練のみを行う事業所は「本体(宿泊型自立訓練」、宿泊型自立訓練と併せて自立訓練等の日中活動を行う事業所は「本体(日中活動的) +本体(宿泊型自立訓練)」の単価とする。)
- 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」に2分の1を乗じた額を基準額とする。
- 4 木造に吸る。

別表3-4

(地震対策緊急整備事業計画のうち、同法別康第 1に掲げる社会福祉施設 (木造施設の改築として行う場合) として耐震化等整備を行う場合及び地震防災緊急事業五箇年計画に基づいて実施される事業のうち、同法別康第 1に掲げる社会福祉施設 (木造施設の改築として行う場合) として耐震化等整備を行う場合)

1事業 (1施設) 当たりの補助基準単価

事業(施設)	事業が施設の種類					
生活介護	本体	利用定員	40人以下	都市部	<u>192,900,000</u>	
自立訓練	(日中活動部			標準	<u>183,700,000</u>	
	分)		41人 ~60人	都市部	321,500,000	
				標準	<u>306,300,000</u>	
			61人 ~80人	都市部	<u>451,900,000</u>	
				標準	<u>430,400,000</u>	
			81人 ~100人	都市部	<u>582,200,000</u>	
				標準	<u>554,500,000</u>	
			101人~120人	都市部	<u>711,200,000</u>	
				標準	<u>677,400,000</u>	
			121人 以上	都市部	<u>841,300,000</u>	
				標準	<u>801,300,000</u>	
	施設入所支援整	利用定員	40人以下	都市部	<u>155,500,000</u>	
	備加算			標準	<u>148,200,000</u>	
			41人 ~60人	都市部	<u>260,000,000</u>	
				標準	<u>247,600,000</u>	
			61人 ~80人	都市部	<u>366,000,000</u>	
				標準	<u>348,500,000</u>	
			81人 ~100人	都市部	<u>470,300,000</u>	

改 正 後							
				標準	469,000,000		
			101人~120人	都市部	603,900,000		
				標準	<u>575,100,000</u>		
			121人 以上	都市部	712,900,000		
				標準	679,000,000		
		就労・訓練事業等	整備噴	都市部	<u>77,100,000</u>		
				標準	<u>73,500,000</u>		
		短期入所整備加拿		都市部	<u>17,200,000</u>		
				標準	<u>16,500,000</u>		
		発達管者支援t	2ンター整備1項	都市部	24,000,000		
				標準	22,900,000		

- (注) 1 上段書きは、「社会福山施設等施設整備費における都市部特例割増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別割増加算後の単価で あること。
 - 2 本体単価と各種加算、解体散去費用及び仮設施設整備工事費の合計額を基準額とする。
 - 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」に2分の1を乗じた額 を基準額とする。
 - 4 木造の障害者支援補設の改築として行う場合に限る。

別表4-1 補助基準単価

(単位:円)

施設の種類			単位	補基準額
女性自立支援施	本体		1世帯当たり	<u>8,241,000</u>
設		初度設備「算	1世帯当たり	<u>104,000</u>
		心理療法室整備加算	1施設当たり	<u>32,486,000</u>

(注) 改築整備に係る初度設備が算は、補助基準額の2分の1以内で知事が必要と認めた額である ےے۔

別表4-2 補助基準単価

	現 17		
		標準	448,000,000
	101人~120人	都市部	<u>576,800,000</u>
		標準	<u>549,400,000</u>
	121人 以上	都市部	<u>681,000,000</u>
		標準	<u>648,500,000</u>
就労·訓練事業等	整뻾噴	都市部	<u>73,700,000</u>
		標準	<u>70,200,000</u>
短期入所整備加度	草 一	都市部	<u>16,500,000</u>
		標準	<u>15,800,000</u>
発達管書者支援t	2ンター整備・噴	都市部	<u>23,000,000</u>
		標準	21,900,000

- (注) 1 上段書きは、「社会福山施设等施設整備費における都市部特別割増単価の取扱いについて (平成18年3月1日付け社福第2234号)」により、都市部特別割増加算後の単価で あること。
 - 2 本体単価と各種が算、解体撤去費用及び仮設施設整備工事費の合計額を基準額とする。
 - 3 短期入所の利用定員が2人以下の場合には、「短期入所整備加算」に2分の1を乗じた額 を基準額とする。
 - 4 木造の障害者支援にいるの改築として行う場合に限る。

別表4-1 補助某準単価

(単位:円)

施設の種類			単位	補助基準額
女性自立支援施	本体		1世帯当たり	<u>7,871,000</u>
設		初度設備「算	1世帯当たり	99,000
		心理療法室整備加算	1施設当たり	31,028000

(注) 改築整備に係る初度設備加算は、補助基準額の2分の1以内で知事が必要と認めた額である ےے۔

別表4-2 補助某準単価

(単位:円)

施設の種類		単位	補助基準額
女性自立支援施	地域交流スペース	1施設当たり	<u>24,864,000</u>
設	初度設備心算	1施設当たり	<u>1,352,000</u>
	地域交流スペース(防災拠点型)	1施設当たり	<u>33,146,000</u>
	初度設備。噴	1施設当たり	<u>3,534,000</u>
	特殊付帯工事	1施設当たり	<u>15,942,000</u>

(注) 改築整備に係る初度設備が算は、補助基準額の2分の1以内で知事が必要と認めた額であること。

別表4-3 補助基準単価

(耐震化整備事業)

(単位:円)

施設の種類		単位	補助基準額
女性自立支援施設	本体	1世帯当たり	12,501,000

別表4-4 補助基準単価

(単位:円)

施設の	種類		単位	補助基準額
女性自	立支援施設	スプリンクラ―設備工事(既存施設)※	1㎡当たり	<u>12,000</u>

※ 創設、 増築、 増攻築、 改築、 拡張及び 老杯民間 理 福祉施 発備 以 か の 事業 工 限 る

別表5 (略)

現 行

(単位:円)

施設の種類			単位	補助基準額
女性自立支援施	地域交流スペース		1施設当たり	<u>23,748,000</u>
設		初度設備項	1施設当たり	<u>1,292,000</u>
	地域交流スペース(防災拠点型)		1施設当たり	<u>31,658,000</u>
		初度設備項	1施設当たり	<u>3,375,000</u>
	特殊付帯工事		1施設当たり	<u>15,227,000</u>

(注) 改築整備に係る初度設備が算は、補助基準額の2分の1以内で知事が必要と認めた額であること。

別表4-3 補助基準単価

(耐震化整備事業)

(単位:円)

施設の種類		単位	補助基準額
女性自立支援施設	本体	1世帯当たり	<u>11,940,000</u>

別表4-4 補助基準単価

(単位:円)

施設の種類		単位	補基類
女性自立支援施設	スプリンクラー設備工事 (既存施設) ※	1㎡当たり	<u>11,000</u>

※ 創設、増築、増改築、改築、拡張及び老朽民間・宣福祉施・発備以外の事業に限る

別表5 略